

明 へ 13
785
卷 49

儀文座

廿五篇
上之巻

万亭應賀作
一壽齋因貞畫

春新梓

上州屋重威板



釋迦八相倭文庫二拾五編序

一經小曰中天竺迦毗羅衛國小於四月八日釈迦菩薩之誕生

却長丈六尺也四月九日小難陀と生長丈五尺四寸白飯王四月八日小

調達を生長丈五尺四寸四月十日阿難を生長丈五尺二寸斛飯

上摩訶男阿那律を生甘露飯王及々跋提を生小八の事と

是を證す採と又一經の調達の本名調波達号を改め阿難

世太子と号より釈迦如未寂場樹下老廓然大悟の空寂迄

と予空寂の我心より誓く法の道草に眼覚は不著せと拙

き導小若から只々嘯とまき而已と

嘉永六年
癸丑孟陽

万亭應賀誌

一

類は身少羅王の子折
 指太子波牟天栗の山中
 不待倉々侍女為笑
 難逢提婆達多
 靈芝を取んと折も
 彼山ふ来の太子と助て
 家小虎で所有外道魔
 術と見せやめ已身方不
 る元意不養育て鏡
 の着初と賀一名と阿
 闍世太子と改名尚も
 魔法と学む



悉達太子雪山の寂場樹下
 千度の物語を聞眺月八日
 の暁小明星の光と戴れて
 雪山を出るを記す

三界の大教主
 釋迦牟尼如來



空寂仙

曲の因丸







中の人... 山... 東...
 山... 東...
 山... 東...

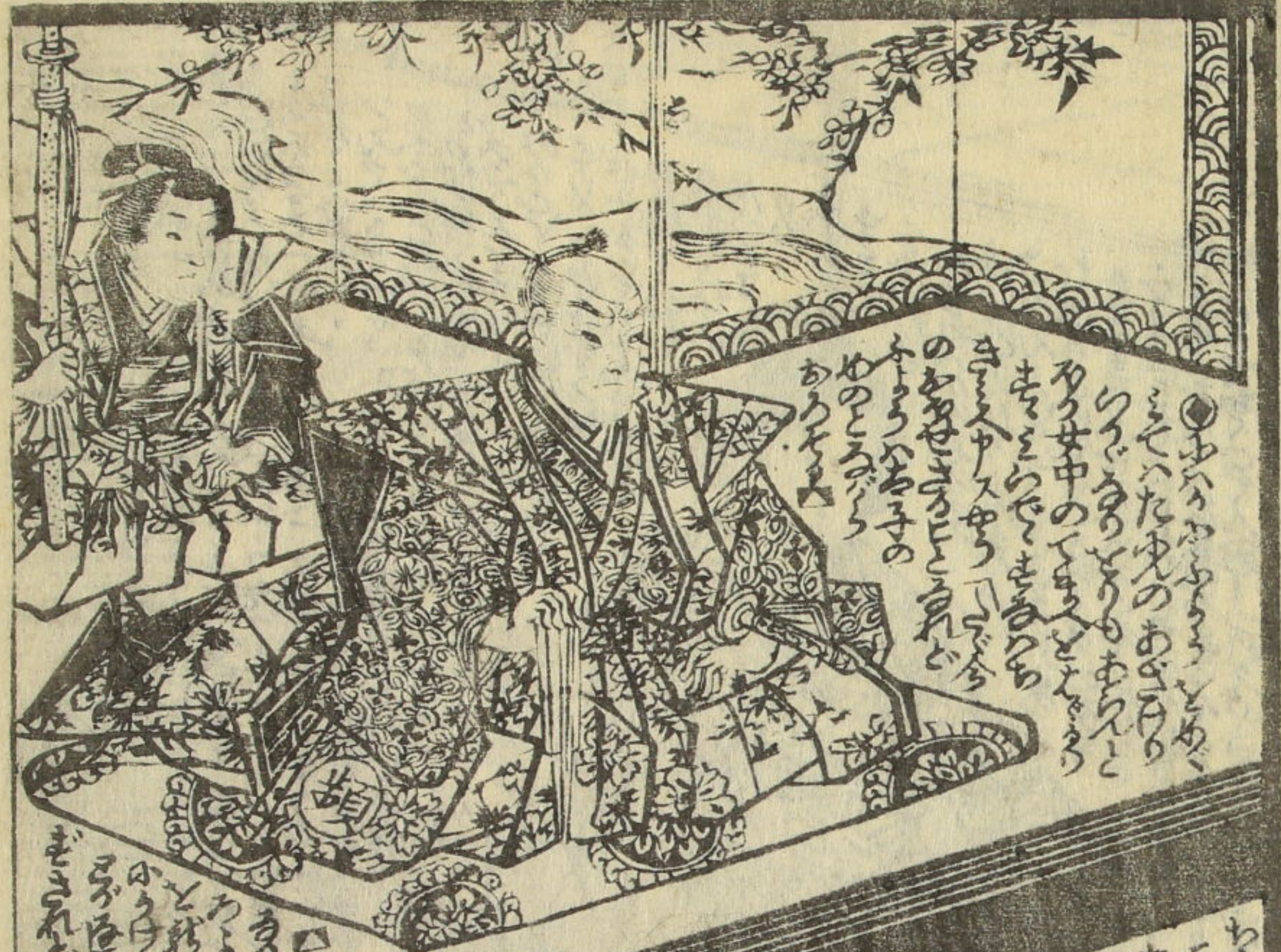


山... 東...

山... 東...



山... 東...



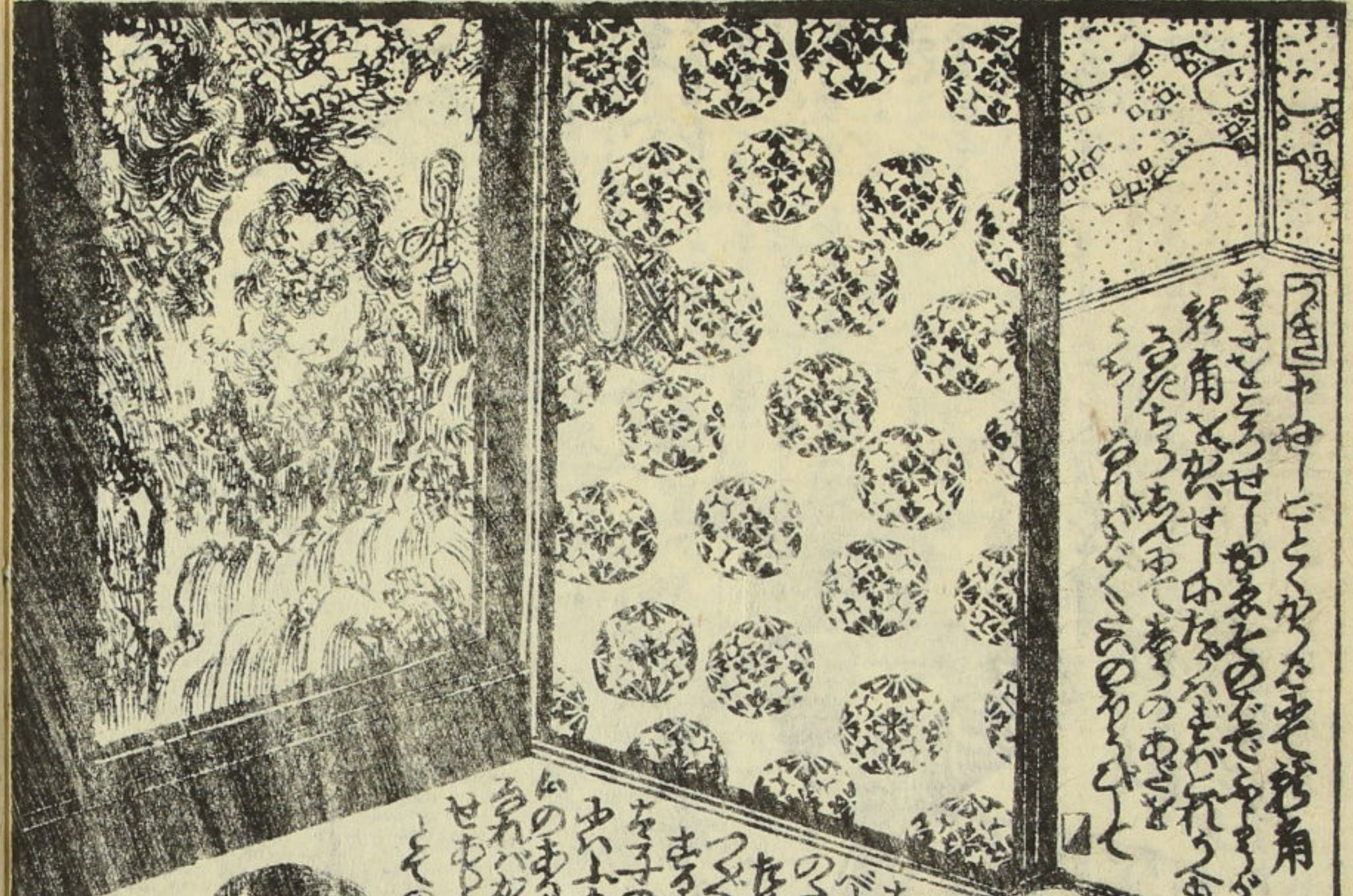
あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる

あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる



あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる

あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる



あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる



あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる

あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる

あつちかちか
うすうす
まはるまはる
まはるまはる
まはるまはる

